

令和2年度 事業計画

I 国際化促進事業

1 国際交流事業

計画額 3,167千円

(1) 草の根国際活動助成

民間レベルの国際交流、国際協力及び多文化共生活動を奨励するため、国際交流団体等の自主的な活動に対し助成を行う。

助成額：1団体につき1事業限度額10万円（ただし、多文化共生事業は20万円まで）

(2) とやま国際草の根交流賞

国際交流や国際協力の活動を草の根レベルで実践している個人、団体を顕彰し、県民の国際交流や国際協力に対する意識啓発、向上を図る。

表彰者数：10件程度

(3) 国際交流フェスティバル

国際交流や国際協力などに取り組む県内の団体の活動状況を紹介するとともに、県民が異文化に触れ合う機会を提供する。

時期：11月8日（日） 場所：富山駅・CIC

主催：とやま国際センター、JICA北陸、富山市民国際交流協会が組織する実行委員会

(4) 国際交流団体等ネットワーク化推進

富山県国際交流団体ネットワーク登録団体の現状を調査する。未登録の団体にネットワーク登録を呼びかける。

2 国際協力事業

計画額 113,370千円

(1) 海外研修員等の受入

ア 海外技術研修員

開発途上国等に対する技術協力の一環として、富山県が受け入れる海外技術研修員の滞在中の日常生活等を支援する。

受入予定	ブラジル	1名
	ロシア	1名
	中国	3名（うち短期1名）

イ 多文化共生推進研修員

ブラジル人児童の学習支援のため、富山県が受け入れる多文化共生推進研修員の滞在中の日常生活等を支援する。

受入予定	ブラジル	1名
------	------	----

(2) 外国人留学生への支援

ア 県費留学生の受入

富山県が県内の大学へ受け入れる留学生の滞在中の日常生活等を支援する。

受入予定	ロシア沿海地方	1名
	中国遼寧省	1名
	南米移住者子弟	1名
	遼寧省（県立大学）	1名
	インドAP州	1名

イ 私費留学生への支援

① 富山県国際交流奨学金の交付

県内の大学、短大、高等専門学校に在籍する成績優秀な私費留学生及び専門学校で日本語を学ぶ学生に対し、奨学金を支給する。

- 私費留学生（国費、県費留学生、他の奨学金受給者を除く。）
 - ・大学等（在籍1年目） 月額10,000円 支給予定 33名
 - ・大学等（在籍2年目以上） 月額50,000円 支給予定 23名
- 日本語教育機関の学生 月額3,000円 支給予定 112名

① 国民健康保険の加入助成

私費留学生及び日本語教育機関の学生の国民健康保険加入促進のため助成金を交付する。

- ・助成額 年額 12,000 円
- ・支給予定 私費留学生 325 名
日本語教育機関学生 112 名

② 留学生の住宅確保への支援

留学生が安定した居住環境で生活が営めるよう、住宅の賃貸借契約を行う際にとやま国際センターが連帯保証人となる。

ウ アセアン留学生の受入

アセアン地域からの外国人留学生の受入拡大と定着促進を図るため、県内企業と連携して留学から就職までを一体とした留学生の受入を行う。

第3期 受入留学生 インドネシア1名、タイ1名、ベトナム2名、ミャンマー1名 合計5名
受入期間 平成30年10月～令和3年3月（2年6ヵ月）予定

第4期 受入留学生 インドネシア1名、マレーシア1名、ベトナム1名、ミャンマー1名 合計4名
受入期間 令和元年10月～令和4年3月（2年6ヵ月）予定

第5期 受入留学生 インドネシア2名、タイ1名、ベトナム2名 合計5名
受入期間 令和2年10月～令和5年3月（2年6ヵ月）予定

エ 留学生交流拡大・魅力発信事業

富山県内に居住する海外からの留学生等のグループが自ら交流事業を企画・実施し、インターネット等により、海外へ向けて、富山県の魅力や留学生生活を発信・紹介する。

(3) NOWPAP 支援協力事業

国際連合の機関であるNOWPAP（北西太平洋行動計画）地域調整部富山事務所の活動が円滑に運営されるよう支援する。

(4) 青年海外協力隊事業への支援

JICA（独立行政法人国際協力機構）が実施する青年海外協力隊をはじめとするJICAボランティア事業の帰国報告会の開催を支援する。

(5) 海外移住者及び関連団体への支援

在外県人会活動費補助金 1,270 千円（ブラジル、アルゼンチン、ペルー）
南米協会活動費補助金 1,000 千円
海外移住家族会活動費補助金 4,895 千円

3 多文化共生事業

計画額 23,266 千円

新 (1) 多文化共生フォーラム開催事業

県からの受託により、県民や在住外国人が多文化共生に関する理解を深めるため、講演会、パネルディスカッション等を実施する。

(2) 富山県外国人ワンストップ相談センターの運営

県からの受託により、県内在住の外国人に対して情報提供や相談を行う「富山県外国人ワンストップ相談センター（令和元年6月18日開設）」を運営する。

ア 外国人のための生活相談等の実施

県内で暮らしている外国人が母語で相談できるよう、外国人の相談員や国際交流員が面談または電話等で対応する。

- ・専任職員（相談コーディネーター及び相談員）を配置し、3カ国語（英語、中国語、ポルトガル語）については、平日9:00～16:00で常時対応

- ・その他の言語については、ベトナム語（火・木曜日 9:00～16:00）、韓国語・テルグ語（月曜日 13:00～16:00）、ロシア語（火曜日 13:00～16:00）で国際交流員が対応
また、上記以外の言語については、通訳サービス会社と契約済み（13言語）のiPadや多言語翻訳機（ポケットーク）で対応
- ・生活相談をリアルタイムで解決できるよう三者通話機（NTTトリオフォン）を活用し、具体的な照会先となる関係機関等と相談者の通訳サポートを行う。

イ 相談員のスキルを高めるための仕組みの構築

- ・コーディネーターと相談員で相談内容を共有し、ケースに応じて複数日をかけて相談に対応
- ・2か月に一度程度、相談事例についての検討会（富山県国際課、とやま国際センター、富山県ワンストップ相談センター）の実施
- ・相談員が悩みを共有できる機会の企画
- ・相談結果の共有のためのデータベース化とマニュアル反映を実施

ウ 相談体制の充実を図るための関係専門機関との連携強化

- ・国の機関、県・市町村の他の相談窓口、外国人支援機関（日本語教室やNPO等）と連携し、マニュアルを整備
- ・「富山県外国人ワンストップ相談センター」の存在を外国人や関係機関に周知していただくための広報活動の実施

（3）外国人のための日本語学習支援ボランティアの育成・支援

ア 日本語ボランティア養成講座

外国人の日本語学習を支援するボランティア養成のための講座を開催する。

時 期：4月～8月 各教室8回 定 員：各教室20名程度 場 所：小矢部市・上市町

イ 日本語教室アドバイザーの派遣

地域日本語教室へ日本語教育専門アドバイザーを派遣し、安定的運営とスキルの向上を図る。

ウ 日本語ボランティアスキルアップ研修会

県内各日本語教室のボランティア等のスキルアップや情報交換を目的とし、研修会等を開催する。
年1回

エ 日本語ボランティアの研修会等参加費用の支援

地域の日本語教室で活動している日本語ボランティアが、自己研鑽のため文化庁等が行う研修会に参加する場合にその参加費用の一部を助成する。

（4）外国語の絵本よみきかせ親子の会の開催

外国語の絵本の読み聞かせを通して、外国籍の子どもには母国語や母国の文化に接する機会を提供し、日本人の親子には海外の文化に出会う機会を提供する。

時 期：毎月 第2土曜日 ※ただし令和2年5月・令和3年1月は第3土曜日

教 材：英語、中国語、ポルトガル語、ロシア語の絵本などを利用

場 所：環日本海交流会館

（5）外国人への防災情報提供

ラジオ番組「BOUSAI RADIO」による防災情報の提供

地震や台風など災害に関する防災情報をFMとやま「BOUSAI RADIO」において母国語で提供する。

毎月第1土曜日 午後9時55分から5分間（やさしい日本語、中国語）

毎月第3土曜日 " (ポルトガル語、英語)

（6）災害時の外国人支援のための防災訓練事業

災害時に外国人住民を支援する人材の育成を図るとともに、大規模災害を想定した「災害時多言語支援センター」等の運営訓練を実施する。

ア 災害時外国人支援ボランティアの養成

災害時における「やさしい日本語」「多言語」による情報提供等研修会の実施

時 期：7月 場 所：県総合防災訓練関係市町村

参加者：国際交流人材バンク登録者、ボランティア希望者等 各約20名

イ 市町村等担当者向け基礎研修

災害多言語支援センターや避難所設置・運営の基礎研修とやさしい日本語研修を各1回実施

時 期：7月 場 所：県総合防災訓練関係市町村

参加者：災害発生時に災害多言語支援センター設置・運営に係わる者等

(市町村防災担当者、国際交流協会担当者、地域の防災関係者等)

ウ 広域連携による防災研修（北陸三県の県及び国際化協会が共同で持ち回り開催）

大規模災害時における石川県、福井県と連携した「災害時外国人支援防災研修」の実施

時 期：7月 場 所：福井県内

参加者：災害時外国人支援ボランティア養成者等 約20名

エ 富山県総合防災訓練への参加

富山県総合防災訓練において「災害多言語支援センター」等運営訓練の実施

時 期：9月 場 所：富山県内

参加者：災害時外国人支援ボランティア養成者、外国人参加者等 約30名

(7) アセアン講座

著しい経済成長を遂げるアセアン地域の国々の理解を深めるための講座を開催する。(第5回)

テーマ国：アセアン諸国

時 期：9～11月頃 場 所：とやま国際センター研修室

参加者：国際交流団体、アセアン地域に興味・関心のある一般県民など 約30名

(8) 外国人のための防災研修事業

万一の災害時に、県内在住の外国人が迅速かつ適切に対応できるよう、外国人を対象とした同時通訳による防災に関する講習会を実施する。

時 期 10月頃

内 容 県内在住の外国人を対象として災害に対する心構え・対応方策等について講義と防災ワークショップを行う。通訳者を配置し、日本語の理解が困難な外国人にも対応する。

4 国際理解・研修事業

計画額 4,203千円

拡(1) 語学講座の開催

講座名	コース名	定員	対象者	時期・回数
中国語講座	入門	30名	一般	6月から3月まで 毎週1回 年間30回
	初級	30名		
	中級	30名		
韓国語講座	入門	40名		
	初級	40名		
ロシア語講座	入門	15名		
ポルトガル語講座	初級	15名		
英語講座	初級	40名		
新 ベトナム語講座	入門	15名		

(2) 国際理解出前講座

地域の国際交流協会や小中高校、大学などからの要望に応じて現場へ出向いて講座を開催し、国際交流・国際理解・国際協力を促進する。

講 師：国際交流員、JICA職員、青年海外協力隊OB等

(3) 国際交流サロン

ア ナマステ・インディア

インド出身の国際交流員が、毎回、テーマを設けてインドのさまざまなことについて県民に英語で紹介するとともに、そのテーマについて参加者みんなで英語で自由に語り合う。

時 期：毎月第2、第4月曜日 夜6時30分から90分程度 場 所：とやま国際センターラウンジ

(4) とやま国際塾

各国からの国際交流員、海外技術研修員、留学生等との交流を通じて、高校生の国際感覚の醸成を図るとともに、国際交流、国際協力や多文化共生に関心を高めてもらう。

時 期：7月18日(土)～19日(日) 定 員：40名 場 所：呉羽青少年自然の家

(5) 国際交流ひろば

6カ国から受け入れている国際交流員を講師とし、県民との交流を通じて国際理解を深めるとともに国際感覚の醸成を図る。

国際交流員4名(米国、中国、韓国、ロシア、ブラジル、インドのいずれか) 4回開催

5 情報サービス事業

計画額 2,759千円

新(1) SNS発信事業

県民の国際交流、国際協力、多文化共生等に関する関心、理解を高めるとともに、県内在住の外国人に対して、生活に必要な情報を提供することなどを目的として、LINE、FACEBOOKなどのSNSにより、情報発信を行う。

(2) 情報紙の発行

ア 「What's Happening」

内 容：県内で開催される各種国際交流イベントや国際交流事業等を紹介

発行言語：英語、韓国語、ポルトガル語、ロシア語、中国語、日本語、ベトナム語

発行部数：6.8月 2,100部 10.12.2.4.月 2,500部

イ 「TIC NEWS」

内 容：県内の国際交流・国際協力に関する情報、国際交流団体の活動、海外からのレポート、とやま国際センターの事業等を紹介

発行部数：年4回 各2,000部

(3) 国際交流人材バンク

通訳・翻訳・日本語指導・ホームステイ受入れ・海外事情の紹介、災害時外国人支援ができる人材の登録と紹介を行う。

また、通訳者を対象としたレベルアップのためのセミナーを開催する。(1回/年)

(4) 広報PR事業

財団の事業について広くPRするためのホームページ、パンフレットにベトナム語版を追加する。外国語版事業案内リーフレットを更新する。

6 環日本海交流会館管理運営事業

計画額 8,500千円

施設管理運営費

県民と外国人の交流の場、国際交流団体やボランティアの自主的な活動の場、留学生や研修生等の活動の場として運営する。

所 在 地：富山市内幸町6-6

施設概要：会議室・研修室

交流サロン

ボランティア室(図書閲覧・貸出 約6,000冊)等

開館日・時間：月～金曜日(水曜日を除く) 10:00～21:00

土・日曜日 10:00～17:00

7 富山県大連事務所運営事業

計画額 30,012千円

本県の中国における活動拠点として富山県大連事務所の運営を行う。

職員：常勤4名

所長(県派遣職員)、副所長(県内企業派遣職員)、現地採用職員2名

II 日本海学推進事業

計画額 7,506千円

(1) 日本海学講座

一般県民を対象に大学教授等の研究者による日本海学に関する講座を年4回開催する。

時期：7月、8月、11月、1月

場所：富山市、高岡市

(2) 日本海学シンポジウム

一般県民を対象に日本海や環日本海の理解を深めるためのシンポジウムを年1回開催する。

時期：令和3年2月

場所：富山市

(3) 大学講座等推進事業

富山大学 「総合科目特殊講義－日本海学－」に講師を1回派遣

富山国際大学 「環境デザイン特別講義」に講師を3回派遣

富山県立大学 「富山と日本海」の講義に講師を2回、「環境論I」の講義に講師を2回派遣

(4) 日本海学研究グループ支援事業

日本海学に関する研究、普及・実践活動に取り組む個人、グループ、団体に対して助成する。

(5) 環日本海学術ネットワーク特定テーマ研究支援事業

富山大学極東地域研究センターが行う「SDGsと北東アジアにおける資源の持続可能な利用」をテーマとする調査研究活動に助成し、その成果を広く県民に普及する。

(6) 富山湾魅力体験親子教室

富山湾の魅力を親子で体験するために、富山湾上で(富山高等専門学校実習船「若潮丸」に乗船)海洋教室を開催する。

時期：8月 対象：小3～中3(小学生は原則保護者同伴)

III 旅券関係事業

計画額 44,782千円

旅券の発給申請の受理及び交付事務の補助業務を行う。

名称	富山県旅券センター	富山県旅券センター高岡支所
所在地	富山市桜町1丁目1番61号(マリエとやま7階)	高岡市御旅屋町101番地(御旅屋セリオ7階)
受付時間	月曜日から金曜日 申請・交付 9:00～16:30 ただし、交付は火・木に限り19:00まで 日曜日 交付のみ 9:00～16:30	月曜日から金曜日 申請 10:00～16:30 交付 10:00～17:30 日曜日 交付のみ 10:00～17:30
閉庁日	土曜日・祝日及び年末・年始(12月29日から1月3日)	